

# 白 亜 通 信

NO.9 2019.6.30

会 長 あ い さ つ

会 長 岩 倉 成 志

芝浦工業大学工学部土木工学科 教授（交通計画研究室）

土木工学科卒業生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。一昨年度より勝木会長を引き継ぎ、白亜会会長を2期務めることとなりました。1999年11月に第1回土木卒業生の会・白亜会総会が開催され今回で10回目を迎えます。私が本学に赴任した年と重なり、本学科の歴史と伝統に感激した当時が思い起こされます。この間、幅広い年代層の卒業生にご協力いただき、就職における卒業生との連携、卒業生相互の交流、名簿事業等が行われました。これまで白亜会の基盤を築きあげてこられた白亜会役員の皆様に深く御礼申し上げるとともに、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

白亜会役員や幹事も新メンバーで始動しており、卒業生相互の交流のさらなる活性化のために議論を進めております。昨年度はイブニングセミナーと称して、多くの卒業生が在職しているJR東日本の中井雅彦副社長に将来の鉄道事業についてご講演いただき、卒業生間の知の交流をスタートいたしました。今年も総会后に、昨年度から赴任された平林由希子教授にご講演いただきます。平林教授は本学卒業生で、国土交通省はもちろんですが、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の専門家として国際的に活躍されています。国土強靱化に関わる最先端の話題を多くの卒業生の方々に聴講いただければ幸いです。

白亜会総会やセミナーの連絡や名簿配布は電子媒体で原則メール送信とすることが前回総会で承認されました。ご不便おかけしますが、メール連絡先をお伝えいただいていない卒業生の方にはご連絡いただき、この白亜会通信を読まれた方は、連絡のつく同期の方に総会のご連絡いただければ幸いです。退職された先生方にも研究室単位で積極的にお誘いいただければと思います。以下に記しますように教員も大きく様変わりしてきております。芝浦工業大学卒業生で社会を変革していくためにも、白亜会のネットワークが強化されるよう、卒業生の方々に同期間の連絡と、社内の縦の関係強化を期待しております。

## 学科の最近

2017年には地盤工学を専門とする稲積真哉先生が、2018年には水文学を専門とされる平林由希子先生が赴任されました。本年3月には安納住子先生が他大学へ転出されています。来年度に向けて新しい若手教員を2名公募しており、大きく若返る学科はますます勢いを増しています。さらに、今年度より心理学や社会学、経済学、数学、英語を専門とする共通科目の5名の先生方を迎えてより幅広い研究、教育が可能となりました。

教育ではgPBL（グローバルPBL）と称して遠藤玲先生や稲積先生が中心となってバンコクやウィーンへ学生を派遣し、派遣先の学生と議論をおこなっており、多くの学生が参加し、グローバルに活躍する学生への受け皿となっています。留学生の受け入れや海外で活躍したい学生のための講義の英語化も進めています。

大学では、今夏より豊洲校舎の二期工事を開始し、相当規模の建物を現敷地内に建設していきます。

学生の就職は引き続き好調で、卒業生の方々のバックアップによるものが大きいところです。土地造成等の復興工事の完了後やオリンピック東京大会後も引き続きご支援いただければ幸いです。

## 第10回白亜会総会のご案内

2017年5月27日に第9回白亜会を開催いたしました。第10回の白亜会総会・懇親会を下記のように実施いたします。奮ってご参加ください。

### 【第10回白亜会講演会・総会・懇親会のご案内】

日時：2019年9月28日（土）

15:30-16:00 代議員 @ 芝浦工大豊洲キャンパス 交流棟 401 教室

16:00-16:15 白亜会総会 @ 芝浦工大豊洲キャンパス 交流棟 402 教室

16:15-17:15 白亜会講演会（平林由希子教授）

演題「地球温暖化による河川洪水の変化」

17:30-19:00 白亜会懇親会 @ 芝浦工大豊洲キャンパス 交流棟 3F 生協食堂

参加費：  
懇親会 ￥4,000  
名簿購入 ￥2,000  
寄付金（協力金） ￥2,000／一口

\*前回より、抜本的な改革により電子によるご案内とさせていただきました。今回は名簿に関しても pdf での配信とさせていただくことで、大幅な減額を実現しております。

参加いただけない方も、名簿購入または協力金にご協力をお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行 振込口座 00120-6-630747

加入者 芝浦土木卒業生の会

### 白亜会講演会のご案内

平林 由希子教授（芝浦工業大学工学部土木工学科）

プロフィール：[https://www.shibaura-it.ac.jp/book/shibaura\\_30/index.html](https://www.shibaura-it.ac.jp/book/shibaura_30/index.html)

専門は水文学。芝浦工業大学土木工学科を1999年に首席で卒業後、東京大学大学院工学系研究科にて2001年に修士号、2004年に博士号を取得。山梨大学助手の間に日本学術振興会海外特別研究員としてドイツに2年間滞在。東京大学大学院工学系研究科准教授、同大学生産技術研究所准教授を経て2018年4月に芝浦工業大学工学部土木工学科教授に就任。IPCCの海洋と雪氷圏に関する特別報告書および第6次評価報告書の執筆者として活躍。

「地球温暖化による河川洪水の変化」

西日本で大きな被害をもたらした2018年7月の豪雨は、地球温暖化による水蒸気の増加が寄与したと気象庁が発表しており、国土交通省においても気候変動を考慮した河川計画の検討が進むなど、将来の温暖化は日本の今後の河川洪水の対策にとって無視できないものとなってきている。世界やアジア、日本の河川洪水が地球温暖化によってどのように変化するのか、すでに観測されている変化はあるのか、将来の変化に対してどのような対策が必要なのかについて、IPCC（気候変動による政府間パネル）の最新の情報を交えながら、研究成果を紹介する。

《抜本的な改革（電子によるご案内と名簿の配布）》

前回より電子によるご案内とさせていただいております。名簿も pdf 化させていただき、web よりダウンロード形式とさせていただきました。パスワードは購入者に別途メールでご案内する予定です。

参加申込・名簿購入・名簿記載事項変更はこちらから

<http://urx2.nu/eBw1>

